

朝日中学校だより

笑顔あふれるあたたかい学校

令和4年5月31日発行



【教育目標】 進んで学び 豊かな心をもった たくましい生徒

5月全校朝会講話 「Society5.0について」

校長 近 貴志

Society5.0 と、SDG s の話は、1年間のどこかで必ずしたいと思っていました。

例えば、海の中のプラスチックゴミは増加の一途をたどっているそうです。2050年には、海の中のプラスチックゴミの総重量が海中生物の総重量を上回るとか。世界中の浜辺もプラスチックゴミで汚染されてしまうかもしれません（現在も深刻な状況です）。

「レジ袋ではなくエコバッグを使いましょう」という話では単純すぎるかどうかと悩みました。それは準備に時間をかけることにして、今回は Society5.0 の話にしました。以下は要約です。

地球が誕生してから 46 億 5000 万年たったそうです。地球誕生から現在までを1年のカレンダーにすると、海と陸に分かれたのは2月9日。人類の祖先が現れたのは12月31日（最後の日）。産業革命が起こったのは12月31日の午後11時59分57秒、わずか3秒前です。この3秒間で、人口が爆発的に増え、工業化が始まり、温暖化が進んだようです。

Society5.0 という言葉を聞いたことはありますか。内閣府の資料（動画等）で示されているように、Society1.0 は狩猟社会、Society2.0 は農耕社会、Society3.0 は工業社会、Society4.0 は情報社会（現代）です。Society5.0 では、地上社会のすべての情報（ビッグデータ）を人工衛星などで集約して、AI（人工知能）が、例えば無人の車をどう動かせば事故が起きずに全ての車が同時に走れるかを計算して目的地まで走らせます。無人のトラクターが耕作したり、ドローンが物資を運んで来てくれたりします。

レアメタルやエネルギー資源は世界中で取り尽くしてしまっていて枯渇しているようでも、宇宙開発を進めたり、海底資源を発掘したりして、（小惑星や海底から）新たに得ることができると考えられています。

このように聞くと、「何もしなくても楽に生きられる」と思うかもしれませんが、私が伝えたいことは、そのような社会においても自己の尊厳を確立して生きてほしいということです。皆さんには、AIに使われるのではなく、主権者としてAIの判断を選択して、自ら決定する生き方をしてほしいのです。

そのために中学校時代にしておくべきことは何か。それは、これまでと変わらず、教科で思考力判断力表現力を身に付けたり、特別活動や部活動でみんなの役に立ったりして自己有用感をもつ、など、これまでと変わらないと思います。

Society5.0 の社会でどう生きるかを視野に入れてほしいですが、今すべきことに気づき、しっかりと行うことで、Society5.0 に適応する力を身に付けてほしいと思います。

朝日中学校では、日々の取組をホームページに掲載しています。ぜひご覧ください。
ホームページアドレス <http://asahi-j.murakami.ed.jp/>



NHK「きらっと新潟」で放送されました 4月22日（金）

4月22日（金）19時30分から、NHKで「きらっと新潟」という番組が放映されました。朝日地区のシルクフラワーを話題として、当校も昨年度から取材を受けていた内容も含めて特集した番組です。

コサージュ作りの様子や、それを胸に昨年度の3年生が朝日中学校を巣立つ様子、今年度の新入生が入学する様子等が放映されました。

これからも地域とのつながりを大切に教育活動を進めてまいります。



※ この画像はNHK新潟放送局より使用許可をいただき、ホームページよりコピーして使用しています。

授業参観を実施しました 4月23日（土）

あいにくの雨模様となりましたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で一昨年度、昨年度は中止とした、春の授業参観を実施しました。

来校者を分散するため、1限から5限までどの時間でも自由にお越しいただくよう1日フリー参観としましたところ、100名を超える保護者・ご家族の皆さまがお越しくださいました。ありがとうございました。



スクールカウンセラー事業が今年度も始まりました 4月26日(火)

4月26日(火)より、今年度のスクールカウンセラー事業が始まりました。
カウンセラーは高橋透様(公認心理士、教育カウンセラー、ガイダンスカウンセラー)です。

業務内容は、

- 生徒との面談(友人関係、学業などの悩み相談)
- 保護者との面談(子育ての悩み相談、保護者の方自身の悩み相談)などです。

既に案内も配付しましたが、相談したい生徒の皆さんは、保健室で「カウンセラーの先生に相談したい」と伊藤先生に申し出てください。また、保護者のご相談申込は学校までご連絡をお願いいたします。

全校ウォークを実施しました 5月13日(金)

この日は全校ウォークを行いました。

朝日地区を1周する総距離25.2kmのウォーキングです。

P T Aのご協力をいただきながら(交差点の交通誘導など)、1日がかりの学校行事でした。日の照りがよく、歩いていると暑さを感じました。



スタート直後。
まだ全然疲れていません。



給水・チェックポイント。
暑かったため給水は必須でした。



25.2km歩いて学校へ帰ってきました。
16時までには全員無事に帰還しました。

生徒総会を行いました 5月20日(金)

この日の6限に生徒総会が行われました。

今年度の生徒会スローガンは「**輝努愛楽**」です。一文字一文字が生徒会員の思いを表現しています。

校長の講評として、生徒に以下の内容を伝えました。

「生徒会のリーダーの皆さんがこのように今年度も生徒会の運営をしっかりと計画してくれて本当に嬉しい思いがします。また、全校生徒が企画に賛同し、承認されました。生徒会活動は大変なことも多いですが、やり遂げるといいことがたくさん自分に返ってきます。その1つは、所属感です。この学級に所属してよかった、この委員会に所属してよかった、という気持ちになります。もう1つは、自己有用感です。『みんなのために役に立っている』という感情は自分を幸せな気持ちにします。この2つがそろると、『生きがい』を感じます。みんなが生きがいを感じられるような生徒会であることが確認できて、本当に嬉しい思いがします。とてもよい生徒総会をありがとう。」



救命救急法講習会を行いました 5月24日(火)



2学年の救急法講習会がありました。昨年度と同様、新潟 PUSH プロジェクト（赤十字新潟県安全奉仕団新潟市分団）から長谷川克弥様がお越しくださり、2学年生徒に救急法をご指導くださいました。

始めに救急法の一連の流れを教えてくださいました。倒れている人を発見した場合、意識の有無の確認（呼びかけ）、脈の確認など、すぐに対応しな

ければ間に合いません。心停止から1分ごとに蘇生確率が10%ずつ低下するというので、5分以内にAEDを使用して救助しなければなりません。「自分が救助する」という当事者意識をもって対応することを学びました。その後、胸骨圧迫の心臓マッサージの講習を受けました。

どの生徒も真剣に講習を受けていました。いざというときの実行力をつけていただいたのではないかと思います。



「私の随想録」第7回

令和3年度10月より、職員の身近な話題、趣味や関心事、継続して取り組んでいること等、自由で個性ある内容をお届けしています。

今年度の第1回は、校長の近貴志先生です。

「軟式野球と将棋」

近 貴志



30年以上前、教員に採用されることが決まった時、私は『毎日5時に帰宅して将棋の勉強をしよう』と楽しみに思っていました。ですが、初任校の校長先生と初めてお会いしたとき、『野球部の顧問をしてください。ノックぐらいできるよね?』と言われました。以来、休日は野球の部活動に明け暮れ、思う存分将棋をするという夢は破れました。ですが、すぐに次のことに気がつきました。それは、「軟式野球という競技は、監督の役割が大きい」ということです。「監督が試合の展開を先々まで正確に読むことができるほど、勝つ確率が高くなる」。将棋に使うつもりだった時間や労力をこれにつぎ込みました。また、当たり前のことですが、「一部のレギュラー選手だけ練習させても駄目。部員全員の技術上達や生活指導、友人関係などに気を配らなくては勝てない」ことも分かりました。



将棋は才能が無かったので今も弱いままですが、部活指導では上の2つを徹底して守ったおかげで、生徒が素晴らしい成果を上げてくれて、私にたくさんの思い出をくれました。

趣味というと、「仕事以外に余った時間や体力で楽しむもの」ですが、将棋は強い相手と指すと本当に疲れて仕事に影響するため、趣味としては割に合わないのです。幸いなことに、私は羽生善治九段と同年代なので、彼の将棋を観ることで「自分は疲れずに将棋を楽しめる」人生を送ることができました。羽生さんは誰も思いつかないような手を指すので、観ていて楽しく、本当に有り難い名棋士です。藤井聡太さんも驚異的に読みが速くて深く、彼の対局は目が離せません。私は今も教員としてやりたい仕事がたくさんあるので将棋はなかなか指せませんが、羽生さんや藤井聡太さんの将棋を観て楽しもうと思っています。